



飛騨高山高生のサポートで夏用プランターの花植えを行いました(園芸交流会 5月22日)

# それいゆ 広報

Vol.113

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック TEL0577-35-3880 FAX(共通) 0577-35-3063
- 折茂医院 TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ TEL0577-34-5026
- デイサービスセンター ベルル TEL0577-36-7077
- Dr. Orishige ビオメゾン TEL0577-37-0800
- ヘルパーステーション レザミ TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れざみ TEL0577-37-5666

新緑が爽やかに感じる季節になってまいりました。

日頃は医療法人同仁会を御利用いただき誠にありがとうございます。

四月から消費税が八%になり、来年十月には十%に増税されると言われています。

それに応じて介護保険では利用者負担も変更となり、一方で後期高齢者医療制度の新加入者の自己負担割合は三割へ変更となるなど社会制度が大きく変化しています。

WHO(世界保健機関)の定義では人口の高齢化率が七%を超えると(高齢化社会)、十四%を超えると(高齢社会)、二十一%を超えると(超高齢化社会)とされています。

五月現在の高山市の人口九万千八百七十七名のうち、六十五歳以上の高齢者の占める割合は二十八%となっています。

私は『それいゆ』に勤め始めて六年目になります。病院勤務からの転換の中で、次のような多くの学びがありました。

それは、介護老人保健施設(以後、老健)というのは在宅復帰・在宅生活支援のための施設であること、施設での医療は介護保険に包括されていて医療保険の併用ができないこと。

また、老健の退所後在宅へ(住まい)の意味は自宅のみではなく、サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームなどが含まれること。

そして人生の終末期は病院で経験した死とは違い安

らかな老衰という最期があること、認知症介護看護への興味などです。

二〇〇〇年の介護保険制度施行から十四年が過ぎ、少しずつ見直し改正がされてきました。

そして現在では、高齢者が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で生活が継続できるようにするため、という観点から介護・医療・生活支援・介護予防を充実させる地域包括ケアシステムの構築が進められています。

老健はこういった地域包括ケアの拠点としての機能が求められています。

この役割を果たせるよう質の高い介護サービスの提供を目標に今年度も各部署・各事業所毎に年間目標に沿った活動をしていきます。

また、次ページに掲載してあります委員会・専門部会の活動等を通して、皆様に安心して御利用いただけるよう職員一同、一層努力してまいります。

今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

## 新年度を迎えて

介護老人保健施設それいゆ  
看護介護部長

和賀登 恵子



**燃えよ！ 踊れよ！ 夏祭り！  
第17回それいゆ夏祭り開催**

■日時：8月2日(土) 17:00～19:30

■会場：老健それいゆ中庭・1Fホール

今年もやります、ステージ・バザー・盆踊り  
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

詳細はあらためてご案内します。

## 委員会・専門部会の取り組み

### 教育委員会

今年は「興味の持てる勉強会を計画し、実行する」を目標に一年間取り組んでいきます。

安全と安心できる介護を提供できるように、個人のスキルアップから、全体のスキルアップを目指します。

四月の勉強会では「接遇」をテーマとし、コミュニケーション方法を中心にグループワークを行いました。各フロアの職員が顔を合わせ、楽しみながら学ぶ事ができました。

この勉強会は職員が指導者となって開催していますが、時には外部講師を招いての勉強会も設定しています。今年は三年毎に行う高山消防署による救急救命講習を予定しています。

### 《今年度の年間予定》

四月	接遇
五月	認知症(学習療法)
六・七月	救急救命講習 (高山消防署より)
九月	排泄(外部講師より)
十月	ノロウイルス・インフルエンザ等の感染症
十一月	防災
十二月	施設内研究発表
一月	レクリエーション
二月	リスクマネジメント、事故防止対策
三月	介護保険・資格の取り方

### レクリエーション委員会

毎月開催される行事を通して、ご利用者の皆様に百二十%楽しんで頂けるよう取り組んでおります。

また、日々の生活における軽作業やレクリエーションの改善など、刺激ある毎日をサポートしております。

### 《行事活動》

一月	松飾、鏡開き
二月	節分
三月	ひな祭り
四月	お花見
五月	運動会計画、夏祭り計画
六月	運動会
七月	七夕祭り
八月	夏祭り
九月	敬老会
十月	文化祭計画
十一月	文化祭
十二月	クリスマス会、餅つき、花餅作り

### 学習療法委員会

学習療法とは、東北大学の川島隆太教授を中心とする研究チームによって研究・開発され、認知症予防・改善する効果が科学的に証明されたものです。

簡単な音読と計算を中心とする教材を用いた学習を、利用者様と私達支援スタッフがコミュニケーションを取りながら行うことで、利用者様の認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能、脳の前頭前野機能の維持・改善を図るもの

と定義されています。

学習療法を行う時間はわずか数十分ですが、支援スタッフがいかに楽しくコミュニケーションを図り、利用者様の意欲・充実感を引き出すことができるのかが大切なポイントだと考えています。

学習する内容は利用者様一人ひとりのレベルに合わせた教材を用いて行いますので、難しくなく「頭の体操」として楽しんで頂ける内容となっております。

今年度は「なぜ学習療法をしているのか？」の意義をよく理解し、スタッフみんなで共有する。」にしました。学習療法は誰のために、なぜ行っているのかを今一度考え、毎月開催される委員会での目標を考え、取り組んでいきます。四月には「大きな丸と丁寧な百点」と題し、一枚一枚に書くこの丸と百点を支援スタッフで統一出来るように努めました。

また、消費税の増税に伴い、料金も六十円上がり二千六百六十円になりました。ご質問等がありましたらお気軽にスタッフにお尋ね下さい。

### 認知症専門部会

「帰宅願望」…よく介護場面では表現しますが、もし自分が学校や職場で誰かに「支配」されていると感じたら、あるいは集団のなかでの「孤立」を感じたら、誰もが「家に帰りたい」と思うのではないのでしょうか。「家に帰りたい」という心は私たちの日常

からそれほど遠いものではないようです。

認知症専門部会では、認知症の人の尊厳を支えるために利用者様の視点に立った暮らしの継続性を確保し、穏やかさと活力を回復させていく支援を目標としています。

五月の部会では「スピーチロック」(怒鳴る、命令するなどの抑圧的な言葉による行動制限)を議題に話し合いました。「スピーチロック」とは目に見えない拘束であり、「フィジカルロック」(抑制帯や、ベッド柵、施錠などの物理的手段による行動制限)「ドトラックロック」(薬物の不適切、過剰投与による行動制限)と合わせて「魔の三口ロック」とも呼ばれています。

認知症の行動、心理症状の出現は介護者の対応に左右されやすいといわれています。

私達は認知症をひとつの障害ととらえ、認知症の人の心に寄り添い、施設生活であってもその人らしく過ごして頂けるよう認知症ケアの質の向上に努めていきたいと思えます。

### 食事委員会

食事委員会の目標は、「安全・安心・美味しい食事」で誤嚥ゼロです。現在の入所者様の状況は、食べ物や飲み込む力は低下などにより、普通食が食べられない方、誤嚥性肺炎のリスクが高い方、食事摂取量が少なく栄養が確保できない方が多くみえます。その為、今以上に①誤嚥

性肺炎の危険に考慮した食事形態（キザミ食・ミキサー食など）②統一した食事介助方法③栄養を補う為の食品の見直しが必要不可欠だと考えています。食事委員会では、看護介護部長、介護職、看護職、管理栄養士、厨房スタッフによる多職種の様々な視点から問題点や改善点を提案・検討し、より安全・安心な食事の提供に努めていきます。

それに加えて美味しい食事はもちろんのこと、季節感や地域性なども大切にして施設で生活している中でも季節を感じ、地元を感じられるような食事を提供できるよう取り組んでいきます。

### 口腔ケア部会

毎月一回提携医院である岡本歯科の医師・歯科衛生士より指導を受けています。

食後の歯磨き・口腔ケア・・・実はとても大切な役割があります。ご飯をおいしく食べる、健康な体を維持する、仲間とおしゃべり、笑顔など、楽しい施設生活を送る上で、とても重要な役割を担っています。多くのメリットの中でも、一番は誤嚥性肺炎の予防があげられます。

この誤嚥性肺炎とは水や食べ物などが誤嚥によって肺に入ってしまう、細菌が繁殖して炎症を起こすことです。

一般的に、高齢になるに従って嚥下の機能は低下するといわれており、

そのため高齢者のかかる肺炎では誤嚥性肺炎が最も多いのです。

口腔内が不衛生であった場合、細菌や食物残渣を唾液と一緒に飲み込み誤嚥する恐れがあり、肺炎になってしまう場合があります。

当施設では、ブラッシングの介助、口腔ケア用品の紹介など、利用者様の口腔ケアのお手伝いをしています。

現在、さまざまな口腔ケア用品が販売されています。

義歯用ブラシ、タフトブラシ、スポンジブラシ、保湿用ジェル、舌ブラシ

一階展示コーナーにて展示しております。また、入所中に虫歯や義歯の不具合等がありましたら、歯科受診をお勧めしています。スタッフに気軽に質問ください。

### 事故防止・抑制防止・防災・ケアプラン委員会

今年度は、四つの委員会を合同で行う事になりました。

**事故防止委員会** 「事故の件数を把握した上で対策を行い周知徹底」

事故は予防していかねばいけません。抑制しすぎると利用者様の体の動きの低下や認知症の悪化に繋がってしまいます。そのため個々の利用者様にあった対応を心掛けていきます。

**抑制廃止委員会** 「抑制がゼロ」に近づけられるように努力をする」

利用者様にとって抑制を行わないことによって負担が増大する等やむ

を得ない場合には、説明・同意の上、ミトンやつなぎの着用をお願いすることがあります。

**防災委員会** 「想定される大地震に備え定期的に防災訓練を行い、スタッフ間の意識の向上を図る」

地震による火災など、その時個々のスタッフがどのように対応するかを、定期的に訓練をします。

**ケアプラン委員会** 「利用者様がどのように施設で過ごすか」を、スタッフ間で話し合い、目標立案から実施評価まで、一連の流れでケアの提供をしていけるように関わっています。

### 入浴委員会

入浴は、利用者様にとって日常生活の中で楽しみの一つでもあり、身体の清潔の保持と、血液循環・心身の疲労を和らげる効果があります。

私達介護者は利用者様にとって安心・安全に入浴をして頂けるようコミュニケーションが大切な場所であり、全身状態の観察が最もできる場であると考えております。

こういった環境の中で今年度の年間目標を「楽しんで入浴をして頂く」とし、浴室の環境整備・安全な入浴介助・プライバシーの保護を心掛けて行きます。また待ち時間には音楽を流す等の対応も継続し、昨年より実施し好評であった、「りんご・ゆず・しょうぶ湯」などのイベント風呂を今年も計画しております。普段とは違った四季折々の入浴を、五感を通

して楽しんで頂き、快適な入浴を提供出来るよう努めて行きます。

### 排泄委員会

今年度の排泄委員会では、「快適な排泄環境を整えられるように、スタッフの意識を高める」を目標にしました。排泄ケアは、人間の尊厳を守る介護の基本です。

利用者様一人一人に合った排泄ケアを目指して排泄の自立に向けての支援、快適に過ごして頂くための個人に合ったオムツ、尿取りパットのサイズや、オムツ交換、トイレ誘導の時間の検討や、在宅に戻られる利用者様には、退所前に御家族様への、オムツの当て方のアドバイス等を行います。このような対応により、利用者様が心地よく毎日が過せるよう支援してまいります。

### 環境委員会

今年度の環境委員会は「利用者が過ごしやすいよう、快適な環境を作る」を目標にしました。快適な居心地の良さを提供するだけでなく、安全を確保し転倒などの事故を防ぐことや、一人ひとりにあった適切な環境作りが提供できるようにしていきます。



# ケアプランセンター それいゆ

管理者 寺田 歩美

**寺田** 基本に立ち返り、今までの業務を見直し、的確な書類作成が出来る体制を作りながら、ご利用者・ご家族の気持ちに寄り添う介護を目指します。

**鮎川** ケアマネになり三年半が経ちますが、まだまだ勉強の毎日です。ご利用者様にとってより良い暮らしとなるよう一緒に考えていきたいと思えます。

**牛丸** 様々な出会いの中で利用者様から教えられる事ばかりの毎日です。至らぬ事が多いですがいつも皆様の身近にいるケアマネでありたいと思っております。

**水波** 帰郷し一年が経ちました。今年は、地域との連携をより深められる一年にしたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

**小林** ケアマネになって十ヶ月。毎日が勉強です。利用者様・家族様の想いに耳を傾け、利用者様が自分らしく心豊かに暮らせるようお手伝いさせていただきます。

**井口** 二月より産休育休明けから復帰しました。一年間お休みを頂き、また新たな気持ちでケアマネの仕事再開していきます。



# デイサービスセンター べれる

管理者 南下 ひなよ

今年度の目標

「計画書を活用した、より良いサービス提供を図る」

取り組み  
スタッフ全員が、お一人おひとりのアセスメントシート作成が出来、情報の伝達をスムーズに行う。

↓居宅計画書を把握する。

- 個人個人の認知症を理解する
- 情報を共有し、問題点を見出し迅速に解決出来る力を身につける（報・連・相・確の確立を身につける）

以上のように、在宅生活の継続を図る為に、日常生活自立度の維持・改善に努める。

認知症対応型通所介護を選んで頂くにあたり、利用者様・ご家族との信頼関係の構築を図り、医療法人 同仁会におけるべれるの役割を浸透させる。

認知症に対するの偏見が未だある中、現在の利用者様・ご家族の中には、平成十七年十一月開設以来八年以上のお付き合いをさせて頂いている利用者もおみえになります。これも、利用者様・ご家族との信頼関係・絆の証ではないかと思えます。

今後もべれるらしさを生かした介護を継続し、利用者様・ご家族にとって信頼出来る事業所であり続ける為、スタッフ一同努力してまいります。

尚、見学等随時行っておりまして、ご利用の有無に関わらず、お気軽にご連絡頂ければ幸いです。



# シャロン・ド・ それいゆ

管理者 牧田 功

初夏の香りが濃くなり、暑い季節になってまいりました。朝と日中の気温差は大きく、体調を崩しやすいくなります。また、脱水も起こしやすいので十分な水分補給を心掛けて下さい。先日受講した研修会にて講師の方が水分補給と歩くことの大切さを強く話されました。シャロン・ド・それいゆでも、いかに十分な水分をとって頂けるか、そして少しでも歩いて頂けるように努力していきたいと思っております。

一年も過ぎ小規模多機能型居宅介護のサービスへの理解も少しずつ広がってきたように思います。当サービスのメリットとしては、緊急時のお泊り、通いのサービスが利用できることです。利用者様・ご家族様の必要な時に必要なサービスの提供が受けられることにより安心して過ごしていただくことです。

介護についてわからない事や心配な事がありましたら、是非御相談ください。



# ショートステイ それいゆ

介護主任 為 永博文

昨年の十月より主任になり、早いもので今年のも三月で入社十年目に入りました。私生活では、二歳と0歳の父親として育児に葛藤の毎日です。介護も育児同様に葛藤の毎日ですが、ご利用者様、ご家族様に少しでも喜んで頂けるようなケアができるよう精進していきたいと思えます。

「うちのじいちゃんが夜なかなか寝んのやさ。」うちのばあちゃん家の中を歩き回るけど、どうしていいかわからんのやさ。」等在宅においてどうしているのか分からないことは多々あるはず。そんな「家族の声」をショートステイそれいゆでは大切にします。夜間不眠の方はどのようにしたら眠られるようになるのか？徘徊の原因は何なのか？を見出し、改善出来るようケアします。施設においては小さなことでも家庭では大きな問題です。短期間ではありますが、ご家族様の希望に少しでも添うことが出来るよう努力します。どんな小さなことでもかまいませんので、スタッフにご相談下さい。皆様に安心して利用していただけるよう職員一同、より一層努力いたします。今後もショートステイそれいゆをよろしくお願いたします。



# それいゆ 訪問看護ステーション

老健それいゆより異動…住田真一（理学療法士）

四月より老人保健施設それいゆから訪問看護ステーションに異動となりました。施設でのリハビリから在宅でのリハビリへ移行し、毎日戸惑っています。早く仕事に慣れ、在宅で活躍できる理学療法士になりたいと思えます。

新入社員紹介…井之口智子（看護師）

初めまして、四月より訪問看護ステーションに勤務させて頂いております。初めての在宅看護という現場で、ご利用者様ご家族様に親切に温かく迎えて頂きありがとうございます。少しでも在宅生活のお役にたてるようがんばりたいと思えますのでよろしくお願いたします。

まだまだ朝晩寒暖の差が激しく体調を崩しやすいのでお気をつけてお過ごしください。

新入社員紹介…寺田真実（看護師）

四月から訪問看護で勤務させて頂いております。まだまだ未熟ではありますが、患者様に合わせた看護が提供できるようにがんばります。よろしくお願いたします。



# ヘルパーステーション それいゆ

管理者 大洞里奈

日頃はヘルパーステーションそれいゆをご利用いただき誠にありがとうございます。

スタッフ一同心より御礼申し上げます。

ヘルパーステーションそれいゆでは、「安心して安全に尊厳をもって在宅生活を送ることが出来るよう支援します」という基本理念に基づきサービスを提供しております。しかしながら、すべてのサービスに対して完璧とまではいかず、利用者様に満足できる在宅生活を私たちは支えていると言えるのか、日々葛藤しております。そんな中でも「来てくれた？待ってたんや〜ありがとな」「なんか久しぶりに笑った気がする」「顔見れたで元氣出たわ」などもったいないお言葉をいただき、ヘルパーの不安な気持ちを反対に打ち消してくださいます。私たちがタツフも、この基本理念に少しでも近づけることができるよう『ありがたの感謝をこめて、利用者様一人ひとりの状態に合わせ、在宅生活を支えていく』を今年度の目標に、日々精進してまいります。こんな私たちですが毎日を大切に勤めさせて頂きまいたします。

もうひとつ…訪問介護ではヘルパーが行えない事がいくつもあります。医療行為や計画にない事、過剰な支援などなど…提供していいの？と疑問に思いながらも行っている事もあります。利用者様にはなんでやってくれないんだろ？と不満を抱かせてしまう時もあるかと思いますが、なにとぞご了承ください。



# Dr. Orishige ビオメゾン

施設長 折茂 佑子

## 住宅型有料老人ホームの特徴 その1

新緑も深まり、山の緑も濃く外出するのが楽しい季節となりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか？今回は、住宅型有料老人ホーム『Dr.Orishigeビオメゾン』（以下ビオメゾン）について、介護保険の施設との違いや利用方法についてQ & A形式でご紹介いたします。

**Q1.** 老人保健施設それいゆ（以下老健それいゆ）と同じ、【介護保険施設】なのですか？

**A1.** 【介護保険施設】とは、介護保険法に基づいて、都道府県知事の指定を受けた施設で、①「介護老人福祉施設」②「介護老人保健施設」③「介護療養型医療施設」の3つをいいます。有料老人ホームは、上記の介護保険施設ではなく、厚生労働省が定める老人福祉法第29条に規定されたもので、高齢者が暮らしやすいように配慮した「住まい」に、食事の提供、介護の提供、洗濯・掃除等の家事、健康管理などの日常生活を送るうえで必要な「サービス」が付いた高齢者（概ね60歳以上）向けの生活施設です。

**Q2.** ビオメゾンははどんな有料老人ホームですか？

**A2.** 有料老人ホームの分類は①「介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）」②「介護付有料老人ホーム（外部サービス利用型特定施設入居者生活介護）」③「住宅型有料老人ホーム」④「健康型有料老人ホーム」の4つに分けられます。ビオメゾンは、③の住宅型有料老人ホーム※になります。

**Q3.** 住宅型有料老人ホームはどんな方が入れますか？

**A3.** 自立の方から介護が必要な方まで、ご利用可能な施設です。普段は家族と一緒に自宅で生活されている方が、家族が急な用事で留守にされる時、介護保険の認定を受けていなくても、宿泊することが可能です。お一人暮らしで、自立して生活されている方が、怪我や病気の間、身の回りのことや、食事の支度ができない等で、回復されるまでの間、ご利用していただくこともできます。要介護の方については、結核等の伝染性の疾患以外の方、点滴、痰吸引、気管切開、経管栄養、人工肛門、在宅酸素、人工呼吸器末期がんの方の受け入れ、終末介護も対応しています。医療的処置が必要な方は、1階の折茂医院、2階の訪問看護が連携して医療・介護保険で支えます。又、24時間常駐している介護スタッフが緊急時は、医師へ連絡し、往診を受けることもできます。

**Q4.** 住宅型有料老人ホームでは介護保険のサービスは、どういうものが利用できますか？

**A4.** 介護保険のサービスは大きく分けて【施設サービス】と【在宅サービス】の2つがありますが、ビオメゾンは「特定施設入居者生活介護」を受けていない住宅型有料老人ホームなので、介護が必要になった時は訪問介護などの介護サービスを外部事業者と契約することにより利用することができます（在宅介護サービス）。例えば、家と同じように、デイサービスに行ったり、ヘルパーさんと一緒に買い物に行ったり、居室で訪問リハビリを受けたり等、ケアマネージャの立てるケアプランにより、介護サービスを利用できます。ビオメゾンでは、施設の職員が、訪問介護の職員も兼務しているので、いざ介護サービスが必要になった時も、馴染みの職員からサービスを受けることができるので、ご本人の身体状況の変化も把握しており、安心してご利用いただけます。介護保険以外の生活支援等についてのサービス（着替えや、居室清掃、身の回りのお世話等）も、ご本人の状態に合わせて、ビオメゾンの職員が、お手伝いいたします。住宅型有料老人ホームは、要介護認定を受けていない方も、同じようにサービスを受けることができ、介護度が付いている方も、介護保険と組み合わせて、生活支援サービスでサポートさせていただきます。

**Q5.** ビオメゾンへの入居にかかる費用はどんなものがあるのですか？

**A5.** 開設当初は、入居一時金の必要な一時金方式のみの契約でしたが、平成24年11月より一時金の要らない月払い方式の契約ができました。入居時には家賃の1ヶ月分を敷金としてお預かりいたします。それ以外は月々のご利用料（家賃・管理費・食費・生活支援費・施設利用料・電気代）と外部の介護保険利用料の自己負担分がかかります。お部屋の空きがある時は、1泊から数か月まで、実費のショートステイをご利用いただくこともできます。住宅型有料老人ホームビオメゾンは、同一建物内に折茂医院や、訪問介護、訪問看護、デイサービスがあり、いざという時も安心してお住まいいただける環境が整っております。

介護に関わるご相談、ご質問等どんなことでも、どうぞお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 0577-37-0800

※住宅型有料老人ホーム：生活支援等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設です。介護が必要になった場合、居住者自身の選択により、外部の訪問介護等の介護サービスを利用しながら、入居された居室で最後まで生活を継続することが可能です。

# ビオメゾン&ヘルパーステーション レザミ

ヘルパーステーションレザミ管理者 澤浦恒子

日頃はヘルパーステーションの運営に多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。

四月一日より、消費税率の変更に伴う介護報酬の改正など介護保険制度も最大限に達成してくために、それまでの老人福祉と老人医療との間で大きくなった隙間を政策的に補うような制度として生まれました。

個人の尊厳と自己実現を最大限に達成していくためには、「住み慣れた地域で、能力に応じ自立した生活を営む」ことが必然的に求められてくるわけで、社会の中で自分の存在価値を実感することにより、生きることの意味や喜びを見出し、出来なかったことが出来るようになったと感じていただけるようなサービスが提供できるように努力してまいります。

私事で恐縮ですが、私の舅のお話をさせていただきます。現在八十三歳。物静かで、いつも部屋で読書をしています。最近グランドゴルフを始めたらしく、誕生日に、ボール、グローブを家族でプレゼントしました。それを見て、いつもは口数の少ない舅が堰を切ったようにグランドゴルフについて話し始めました。その時の目は生き活きと輝き、いつもの舅とは思えないくらいの様子でした。

人は楽しみや生きがいを見つけると、こんなにも表情が違うものかと改めて感じ、また、それを聴いてあげることの大切さを実感しました。

私たち訪問ヘルパーは、利用者様に寄り添い一番身近に心身の変化を感じ取る距離にいます。利用者様の目の輝きを逃さないように、一緒に生きがいや楽しみを見つけていけたらと思っています。今後とも誠心誠意頑張ってまいりますので何卒よろしく願っています。

## ビオメゾン New Face 紹介

池田峰子 去年の十二月からビオメゾンで働かせていただいています。慣れない事ばかりですが、先輩からの助けや利用者様とのふれあいで励まされることが多くあり、やりがいを感じています。いつも笑顔忘れず、頑張っています。よろしく願っています。

池田龍亮 ビオメゾンに入社させていただき半年が過ぎました。まだまだ覚えなければいけないことがたくさんあり、四苦八苦しております。でも、入居者様や職員の皆様に元気を分けていただきとても充実した日々を過ごしています。これからもがんばってまいります。



## デイサービスセンター れざみ

管理者 阿礼 由美香

平成二十一年四月に開設し六年目の春を迎えました。これも皆様のおかげだと感謝しております。

たくさんご利用者様やご家族にお逢いできることは、「住み慣れた地域で生活を続けたい。家が一番。」と思っておられる方が多いということです。自宅のお風呂に入るには不安がある。もっと運動をしてまめになりたい。なじみの方とお話しをしたい。というニーズを解消するために当事業所をご利用いただいております。

『利用者様との日々の関わりと、自律したスタッフになる！』を目標に毎月勉強会を実施している中で、情報の共有・共通理解の大切さを学び、個々に合わせた言葉を選び説明し復唱する事。また、スタッフノートを皆が活用できるよう改良した事で、スタッフ全員が残存機能維持向上や潜在能力を引き出しその人らしく幸せに過ごす事ができるよう全力を尽くすという同じ思いで努めております。

《安心・安全に過ごせるれざみデイであり続けられるよう》  
精進して参ります。

## 第5回レザミひだ メディケアガーデン 夏祭りのご案内

青葉若葉が光り、風薫るすがすがしい季節となりました。

レザミひだメディケアガーデンの夏祭りも今年で5回目を迎えます。

今回のテーマは、「夏だ！祭りだ！子供もホクモモリモリ育つ!!」

今年は、レザミひだメディケアガーデンをご利用いただいている高齢者の方から病児保育室の小さな子供さんやその親御さんまで楽しんでいただけるような夏祭りを計画しています。

テーマからもお分かりいただけるかと思いますが、岐阜の木を使った大人も子供も自然とふれあいながら楽しく遊べる広場や、おもちゃの病院、ワークショップ、sororのバザー、お手玉を使った射的(当たったら、景品がもらえます)のほか、歌や、エプロンシアターなど多彩で楽しい催しものがあります。

また、食べ物、飲み物コーナーでは、冷やしうどん、ラーメン、アイスクリーム、みたらし団子、生ジュース、ノンアルコールビールなどを販売します。

ぜひ、みなさん遊びに来てくださいね！お待ちしております！！



◇日時：7月21日(月) 海の日  
10:00～15:00

◇会場：レザミひだ  
メディケアガーデン  
(昭和町2丁目)



## 病児保育室 プティそれいゆ

木々の若葉が風にきらめく季節となりました。

出産や育児でいったんお仕事から離れていたけれど、この4月からお子さんの進入、進級を機に再就職したという方も多いのではないのでしょうか？親も子も新しい環境での新しい生活がスタートですね。働くお母さんの生き生きした姿、いつかきっと子供たちも誇りに思ってくれるはず！不安や迷いはきっとあると思いますが、頑張ってください！と心から応援しています。

さて最近、「朝起きたら熱があつて、でもお仕事は休めない。病児保育はどうやって利用するんですか？」という急な申し込みが増えました。病児保育室ではいざとなつてあてないように、事前登録を呼びかけてはいるのですが、平日は忙しくてなかなか足が向かないというのが実情かと思えます。

そこで今年も「レザミひだ夏祭り」にて、登録説明会を開催します。お子さんが元気な時にレザミで楽しい時間を過ごすことで、ご利用時に親さんにもお子さんにも不安なく来てもらいたいと思っています。

今年の夏祭りには、もっとお子さんが楽しめるイベントを！と考えて岐阜県よりいろんな種類の岐阜の木のおもちゃをお借りしてすることにしました。ホールいっぱい木のおもちゃで自由に遊べる広場を作ります。木の優しさや暖かさに触れながらホッと安らぐ空間になりそうです。また、長く大切に使うことの大切さを教えてくれるおもちゃ病院も開院します。壊れてしまったおもちゃがあるという方は、ぜひお持ちください。その他、ワークショップやバザーなど盛りだくさん。いつもと一味違う夏祭りになりそうです。

病児保育室スタッフ一同、いつも来てくださっている常連のお子さんたちの元気な姿に会えるのも楽しみにしています！お誘い合わせて遊びに来てください。お待ちしております！



### 編集後記

一雨ごとに夏の気配が濃くなってきました。  
介護保険制度は平成二十七年改正に向け、改革案が取りまとめられており、

全容も徐々に明らかになっていきます。社会保障や介護保険の再編で重要とされているのが「医療と介護の連携」です。また、医療や介護を必要とする人を在宅対応するシステムづくりも不可欠といわれています。

私達、医療法人同仁会では地域医療を担う折茂医院、桐生クリニック、在宅復帰を支援する百床規模の介護老人保健施設それいゆ、ケアプランセンターそれいゆを始めとする介護サービス施設が十三事業所あり、改正案の中で求められる医療と介護の連携に、これらの事業所の立ち上げ時から取り組んでまいりました。

また、平成十七年には地域支援事業の先駆けとして地域密着型サービスの認知症対応型通所介護デイサービスセンターへれるを、昨年には地域包括ケアで提案されている小規模多機能居宅介護・登録者については泊り・デイなどが複合的に利用出来る「シャロン・ド・それいゆ」を昭和町のメゾン・ドゥイの一階に開設、さらに昨年は住宅型有料老人ホームピオメゾンが移管されるなど高齢化に伴う様々な生活の課題に対応可能な施設を運営しております。

さらに病児保育室プティそれいゆは市内の子育て世帯の応援を支援させて頂いております。私共は総勢二百名近くの職員で、常に地域の皆様の生活に貢献させて頂けるよう、日々精進して精一杯力を尽くして参りますので今後ともよろしくお願致します。

◆同仁会のホームページがこの六月に更新されました。利用者様、職員のとおきおきの笑顔を是非、ご覧下さい。